

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 東大

上場会社名 宮越商事株式会社

コード番号 6766 URL <http://www.miyakoshi-corp.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 宮越 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 板倉 啓太

TEL 03-5493-8111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	8,941	△34.1	130	△66.4	△1,241	—	△1,238	—
21年3月期第2四半期	13,578	—	387	—	342	—	266	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△79.72	—
21年3月期第2四半期	17.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	25,268	13,920	54.1	880.30
21年3月期	26,610	15,065	55.2	944.77

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 13,675百万円 21年3月期 14,677百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	△20.4	280	△39.9	△1,020	—	△1,070	—	△68.88

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	15,542,176株	21年3月期	15,542,176株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	6,886株	21年3月期	6,750株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	15,535,380株	21年3月期第2四半期	15,535,706株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策等の効果により個人消費など一部回復の兆しが見られるものの、雇用情勢の悪化と企業収益や設備投資の低迷など全体としては、依然として厳しい状況下で推移しました。また海外では、中国などアジア地域では景気が回復しつつありますが、欧米では依然として景気の低迷が継続しております。

このような状況下、当社グループは主力の電気機器等の製造販売事業においては、利益率の高い製品に特化した営業戦略により市場の拡大を図ってまいりましたが、ヨーロッパ市場を中心に個人消費の落ち込みによる影響で薄型液晶テレビの販売が予想を下回りました。金属加工部門においては経営基盤の強化のため引き続き事業の再構築を進め、医薬卸販売部門においては、医薬品等の販売網の拡大と販売代理業務の確保に努めております。又、不動産部門においては、土地再開発計画について深セン市政府と具体的な打合せを行っております。

一方、有機食品事業では商品の品揃えが整い、消費者の「食の安心・安全」への関心の高まりから、当社の有機（オーガニック）加工食品の需要が増加しております。また、中国市場への参入につきましては、すでに中国有機食品認定機関の販売認可を取得し、販売網の構築を進めております。

尚、当社グループでは世界経済の先行き不透明感に対応するため、財務の改善を進め債権等においても保守的な評価基準に基づいて個別に検討した結果、当第2四半期連結累計期間において1,124百万円の貸倒引当金を計上いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の連結売上高は、8,941百万円（前年同四半期比34.1%減）となり、利益面では営業利益130百万円、経常損失1,241百万円、四半期純損失1,238百万円となりました。

事業の種類別販売状況は次のとおりです。

(単位:百万円)

事業別	部門別	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間	前年同期比
電気機器等の製造販売事業	音響機器	332	1,034	△67.8%
	映像機器	8,045	9,438	△14.8%
	その他電気機器	—	684	△100.0%
物資等、医薬品及び 医療器具等販売事業	家庭用品等	—	1,591	△100.0%
	金属加工・医薬等	294	540	△45.5%
不動産開発及び賃貸管理等事業		219	289	△24.1%
有機食品事業		49	—	—
合計		8,941	13,578	△34.1%

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、財務内容強化のため貸倒引当金を計上したことにより、総資産は252億円となり前期末に比べ13億円減少いたしました。負債合計は、113億円となり前期末に比べ1億9千円減少いたしました。又純資産は、評価・換算等の増加と利益剰余金の減少により、前期末に比べ11億円減少し139億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期の連結業績の動向等を踏まえ、平成21年8月7日に公表した平成22年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

平成22年3月期通期連結業績予想

(単位:百万円)

	前回発表	今回発表	増減	増減率
売上高	21,800	17,700	△4,100	△18.8%
営業利益	450	280	△170	△37.8%
経常利益	440	△1,020	△1,460	—
当期純利益	390	△1,070	△1,460	—

※上記の業績見通しは、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。その主な要因は、マーケットの経済状況及び消費の動向や米ドル等の為替相場の変動によるものであります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについて正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	189	319
売掛金	7,953	7,990
たな卸資産	70	92
短期貸付金	5,289	5,361
その他	161	99
貸倒引当金	△2,588	△1,498
流動資産合計	11,075	12,366
固定資産		
有形固定資産	404	439
無形固定資産		
のれん	1,541	1,613
その他	1,449	1,390
無形固定資産合計	2,991	3,004
投資その他の資産		
長期貸付金	10,625	10,653
その他	185	160
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	10,797	10,800
固定資産合計	14,193	14,244
資産合計	25,268	26,610
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,995	2,151
短期借入金	537	355
未払法人税等	74	74
引当金	5	2
その他	437	598
流動負債合計	3,051	3,181
固定負債		
長期借入金	7,936	8,042
引当金	68	64
その他	292	255
固定負債合計	8,297	8,362
負債合計	11,348	11,544

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,164	8,164
資本剰余金	7,848	7,848
利益剰余金	△2,032	△794
自己株式	△9	△9
株主資本合計	13,970	15,208
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△294	△531
評価・換算差額等合計	△294	△531
少数株主持分	244	388
純資産合計	13,920	15,065
負債純資産合計	25,268	26,610

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	13,578	8,941
売上原価	12,843	8,512
売上総利益	735	428
販売費及び一般管理費	347	298
営業利益	387	130
営業外収益		
受取利息	6	23
その他	0	0
営業外収益合計	7	23
営業外費用		
支払利息	4	12
貸倒引当金繰入額	—	1,124
為替差損	46	—
その他	0	257
営業外費用合計	51	1,395
経常利益又は経常損失(△)	342	△1,241
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	—	33
特別利益合計	0	33
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	15	—
その他	0	0
特別損失合計	15	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	327	△1,207
法人税、住民税及び事業税	20	13
法人税等調整額	36	18
法人税等合計	57	32
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	266	△1,238

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	電気機器等 製造販売事業 (百万円)	物資等、医薬品 及び医療器具等 販売事業 (百万円)	不動産開発及び 賃貸管理等事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,157	2,132	289	13,578	—	13,578
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	49	49	(49)	—
計	11,157	2,132	338	13,628	(49)	13,578
営業利益	410	38	46	495	(108)	387

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	電気機器等 製造販売事業 (百万円)	物資等、医薬品 及び医療器具等 販売事業 (百万円)	不動産開発 及び賃貸管 理等事業 (百万円)	有機食品 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	8,378	294	219	49	8,941	—	8,941
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	42	—	42	(42)	—
計	8,378	294	261	49	8,983	(42)	8,941
営業利益又は営業損失(△)	283	△84	35	△20	214	(84)	130

- (注) 1 製品・商品の種類、販売方法等の共通性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行っておりません。
- 2 事業区分については、従来3区分としておりましたが、前第3四半期連結会計期間より有機食品事業を開始したことに伴い、当該事業を「有機食品事業」として区分表示しております。
- 3 各事業の主な製品

事業区分	主要製品
電気機器等製造販売事業	カラーTV、DVDプレーヤー、マルチメディアプレーヤー等
物資等、医薬品及び医療器具等販売事業	金属加工品、雑貨等、医薬品、ライセンス手数料等
不動産開発及び賃貸管理等事業	賃貸料、管理料等
有機食品事業	有機レモン果汁、有機オリーブオイル、有機ドレッシング等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占めるアジア地域の割合が100%のため、所在地別セグメント情報については記載しておりません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

当社及び連結子会社の海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高については記載していません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。